

取組名称：淀川リバーサイズメディカルトレーニングサポートプログラムによる大学間連携
構成大学：大阪医科大学、関西医科大学

(取組概要)大阪医科大学と関西医科大学が連携することで、両校が保有する基本的診療技能トレーニングの場及びFD等のノウハウといった両校が得意とする教育資源を相互利用して医学部学生の臨床教育の充実を図ることを主たる目的とする。また、行政機関や地域医療機関と連携することでそれらの教育資源を有効活用してリカレント教育や復職トレーニングの場を提供する。さらに、医学生に多くの医療人との交流機会を与えることで、チーム医療や生涯学習の重要性を理解させ、プロフェッショナリズムを涵養させる。

● 大学間連携の目的

- ・淀川を挟み近隣した両校の得意とする分野を相互利用することで医学部学生の臨床教育の充実を図ること。
- ・行政や医師会との協力体制を築き地域医療人の医学教育環境を整備すること。
- ・地域医療を充実させることで地域貢献を図ること。

● 連携取組の内容

- ・トレーニングサポートセンターを設置し、運営体制の整備をする。
- ・ホームページや行政機関の広報機能を通じて地域住民、地域医療人に情報発信する。
- ・臨床教育に関する各種プログラムを策定して実行する。

● 期待される効果

- ・連携する両校がお互い保有する知的資源を有効利用することで、医学部学生の臨床スキルの向上を図ること。
- ・地域医療人、離職中の医療人がメディカルトレーニングの場を利用することが可能となること。
- ・医学部教育の活性化を通じて地域社会に貢献すること。

地域と一体化して医療人の育成や復職をサポートする

- 地域医療の知の拠点形成
- コンテンツの有効利用
- 医療人の確保体制の確立
- 地域医療体制の確保

